

プロジェクト報告書

【締切:プロジェクト終了後1か月以内。もしくは 2014年4月30日】

団体名 社会福祉法人 生活クラブ

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

児童の生活環境整備・運営/業務環境向上事業

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

※応募申請書に記載のもので可。

自立援助ホームの運営費は、国、県からの措置費に頼るところが大きく、生活環境の整備や、運営に必要な備品の購入、スタッフの研修への参加などが後回しとなりやすく、入寮する児童については、最低限の荷物しか準備できない児童も多い為、生活を送る為の日用品や衣服、布団の購入など、これまで自己負担で行う必要があった物品の支給をすることで、スタッフの質の向上と当ホームを利用する児童の負担を軽減できればと考えています。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のもので可。

知識や経験の浅いスタッフも一人での宿直をしてもらう必要があった中、少しでもスタッフの知識や質を向上させるために研修への参加を積極的に行ってきた。全国大会へも2名が参加し、全国の自立援助ホームのスタッフと研修を通してホームでの日々の生活のあり方や子ども達との関わりについて意見を交わすことができた。また、あんしん基金にてホーム内の改修も行いながら、今後もより安心、安全なホームでの生活を子ども達に提供できるように心がけていきます。

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

ホーム内のリフォームを行い、水漏れで歪んでしまっていた廊下の改修を行い、より安全、安心に生活できる環境を整えることができました。今年度は大雪による停電等が発生しましたが廊下の証明や子ども達の部屋の照明器具など、万が一に備えた環境の整備等についても今後継続的におこなっていく必要があるという課題も見えてきました。より細かいところの改善点などにも気づくことができた良い機会になったと思います。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

今年度は全国大会へ2名参加するなど研修への参加をこれまでよりも充実させることができました。スタッフの入れ替わり等により経験が浅いスタッフで子ども達と関わっていく必要がある中、入寮している子ども達に対する理解やケアなど、まだ十分ではないところも見えてきました。来年度以降もスタッフが研修への参加を積極的に行い、子ども達への理解とより良い関わり方を学ぶことで、個人の意識の向上を図るだけではなく、ホームとしてより一層、安心して生活を送ることができる環境の整備を心がけ、入寮してくる児童へのより良い対応につなげて行けるように各スタッフが心がけ努力していきます。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし

